

平成19年11月1日
第二管区海上保安本部

問い合わせ先
第二管区海上保安本部
海洋情報部 海洋調査課 おいかわ 及 川
電話 022 - 363-0111 (内線2530)

暖水塊7年振りに三陸沿岸に接岸、沖合への強い流れに注意！

例年10月の三陸中部沿岸海域の海況は、三陸沿岸を南下する津軽暖流と親潮系冷水の影響により、海流は南下傾向となっております。(別図参照)

しかしながら、今年については、10月上旬から下旬にかけ、暖水塊()が宮城県から岩手県に至る沿岸で接岸しています。この現象は2000年10月以降7年振りに認められたもので、この暖水塊の接岸により三陸中部沿岸域から沖合にかけて、1ノット以上の流速で沖合に向かう強い流れ(東向きの流れ)が発生しています。

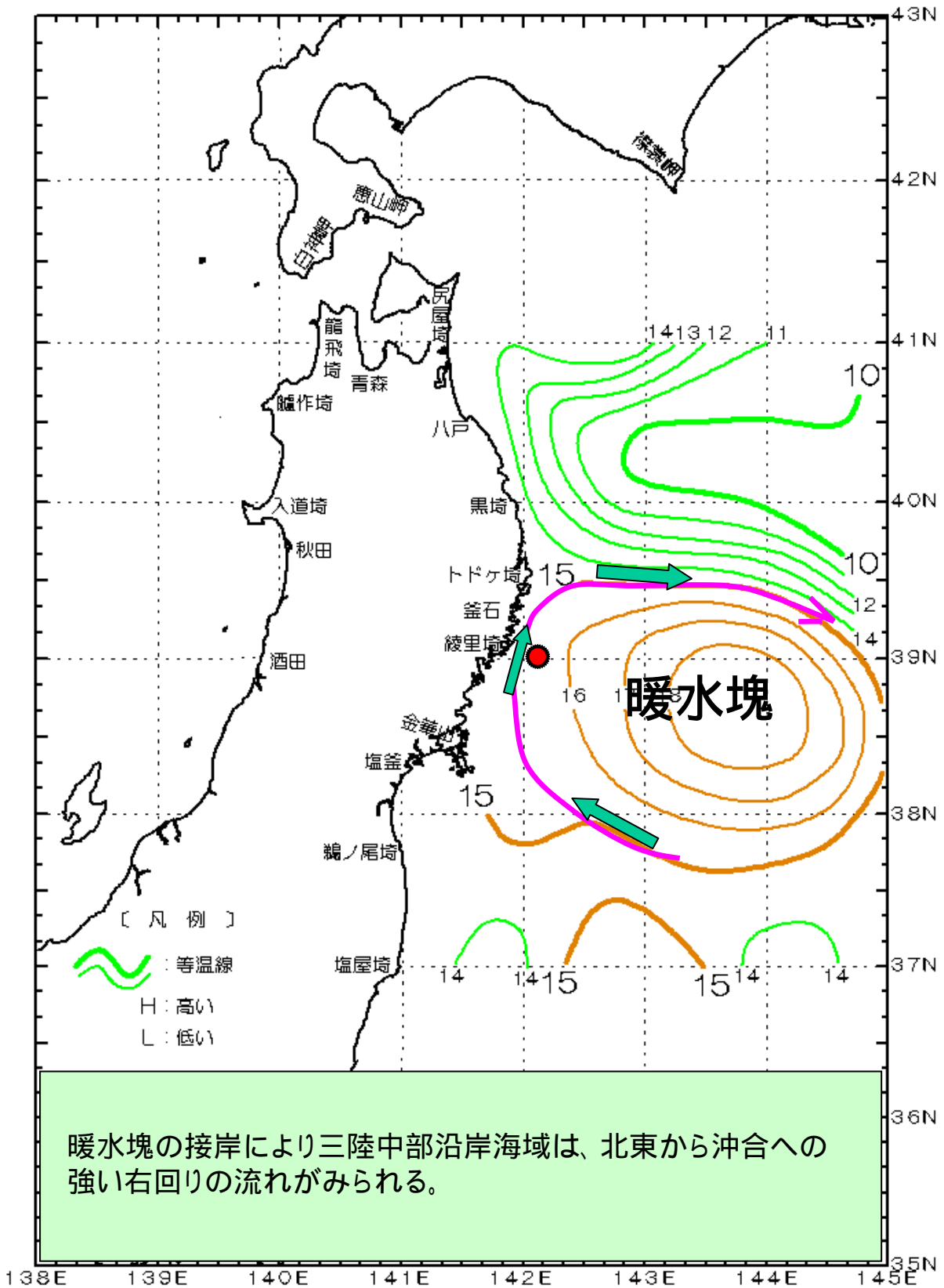
このような最中、10月3日にはタンカー乗組員が海中転落し、東向きの流れにより、転落位置から東方の海域において発見されています。

このため、当本部では暖水塊の影響が懸念される近隣の漁業協同組合、海事関係者等に対し暖水塊の陸岸への接近、接岸の情報を二管区海洋速報により提供するとともに、海中転落した場合に備えライフジャケットの常時着用を呼びかけています。

- () 黒潮を起源とし、黒潮から連なる暖水が北上、蛇行することにより黒潮から分離し、単独で渦(塊)を形成したもので、周辺海域では強い右回りの流れを伴っています。大きいものでは、直径が200km以上、深さが500m深に達するものもあり、今回のものも同規模のものです。

10月下旬の海況

【100m層水温水平分布図(°C)】 2007/10/23



平成16年10月の海況

【100m層水温水平分布図(°C)】2006/9/22-10/12

